

1 議題について

(1) 〈児童の実態〉

本学級の児童は明るく活動的な児童が多い反面、自分の考えや思いを伝えたり、人前で自分の意見を発表したりすることに苦手意識をもつ児童もみられる。学級活動では、4月から学級会の進め方や計画委員会の進め方、発表の仕方や話し合いの約束などの共通理解を図ってきた。その後、「学級目標を決めよう」「5年1組のクラスの旗を作ろう」「クラスレクを考えよう」などの議題で話し合い、実践を積み重ねてきた。これらの活動をとおして、意見の出し方や折り合いの付け方などを経験の中から学び、学級会の進め方について理解を深める児童が増えてきた。しかし、学級会の際に相手の発表を待てずに発言してしまう児童や、自分の意見に固執して折り合いを付けることができない児童、準備を人任せにしてしまう児童も見られる。

(2) 〈議題選定の理由〉

本議題は、「今までの活動を生かして、さらに友達やクラスの絆を深めたい」という児童の思いから提案されたものである。その後、計画委員会で議題を選定し、学級全員にはかり決定された。互いの立場を尊重して話し合ったり、助け合って実践したりする活動をとおして、学級内の人間関係を深めたい。話し合い活動をとおして、「どんなことをやるか」「どのように盛り上げるか」「どんな役割が必要か」という三つの柱について、互いの意見を尊重しながら、よりよい案を見つけていくことで、クラスへの所属意識を高めるとともに、自分たちの力でよりよい学級をつくっていかうとする自治的能力を育てていきたい。

2. 事前の活動

3. 本時の活動

4. 事後の活動

目指す児童の姿と評価方法

- 学級生活をよりよくするために進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。(観察)【関・意・態】
- 計画委員の役割や話し合い活動の準備の仕方などを理解している。(観察)【知・理】
- オリンピックの目的に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。(学級会ノート)【思・判・実】

目指す児童の姿

- 友達の意見をよく聞き、自分の考えをもって積極的に話し合おうとしている。【関心・意欲・態度】
- 話し合い活動をとおして、めあてや提案理由を意識し、よりよい解決に向けて協力して「クラスのオリンピック」の計画を立てることができる。【思考・判断・実践】

目指す児童の姿と評価方法

- 準備や集会に進んで取り組もうとしている。(観察)【関・意・態】
- 集会の目的を考え、友達と協力し責任をもって準備したり参加したりしている。(観察、振り返りカード)【思・判・実】

児童の活動(・)及び指導上の留意点(〇)

- 〈計画委員会の活動〉
- 問題の発見
 - 議題の選定 (〇/〇業間 計画委員)
 - 議題の決定 (〇/〇帰りの会 学級全員)
 - 計画の作成と準備 (〇/〇 昼休み 計画委員)
 - 学級会の活動計画
 - 役割分担 司会・黒板・ノート記録
 - 提案理由の明確化、練り上げ
 - 話し合いのめあての確認
 - 話し合うこと(柱)の決定
 - 学級会ボード、学級会ノートの作成
 - 問題の意識化
 - 〇議題は、計画委員の提案のもと、学級全体に知らせ、決定できるようにする。
 - 〇出された意見に目を通すことで、話し合いの見通しがもてるようにする。
- 〈学級全体の活動〉
- 議題を決定する。
 - 学級会ノートに自分の考えを記入する。
 - 〇提案理由と話し合いのめあて、決まっていることについて確認してから、自分の考えを記入できるようにする。
 - 〇「決まっていること」を掲示することで話し合う上での条件を明確にする。

よかった点や課題について自己評価するとともに、友達のよかった点などについても振り返るよう助言する。

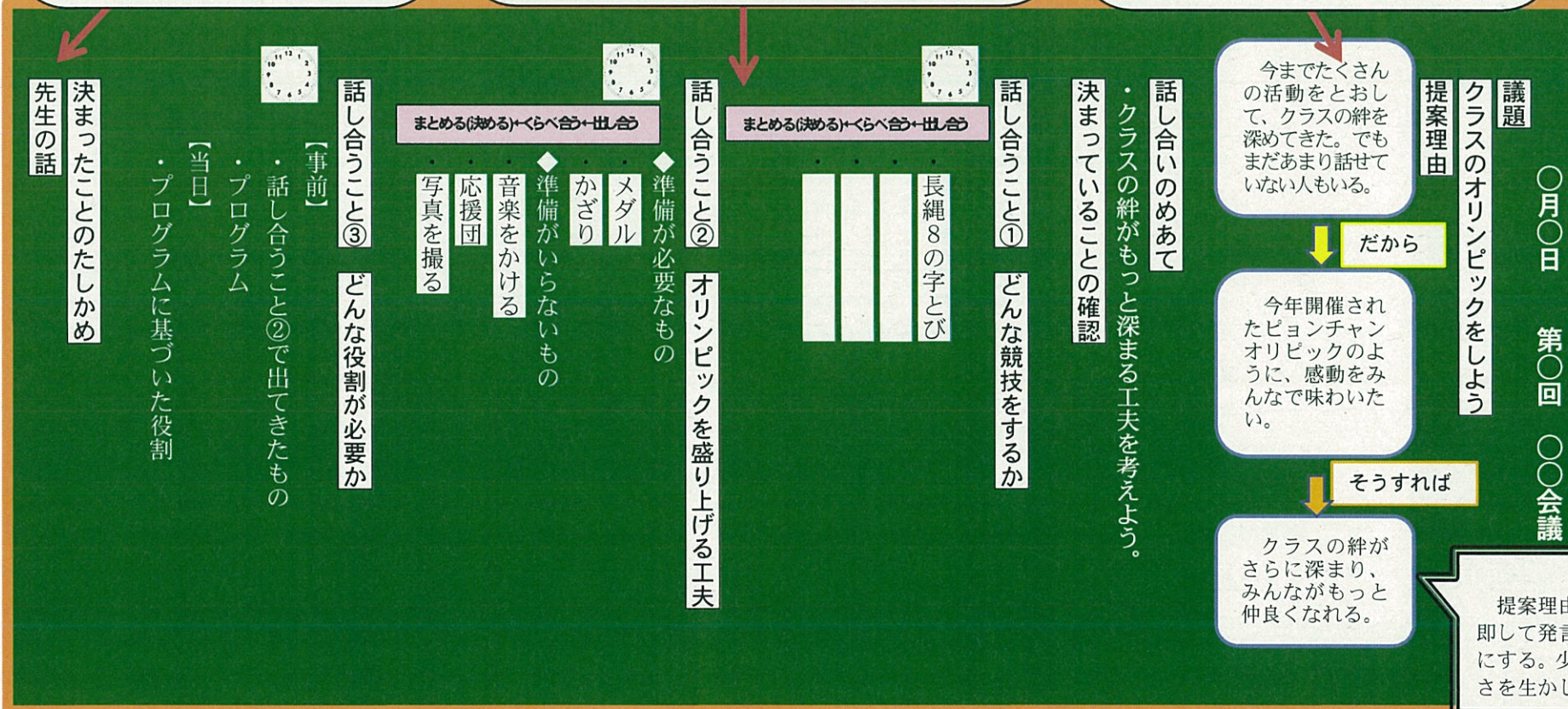
提案理由を意識した発言や前回からの成長点等を称賛するとともに、計画委員へのねぎらい、次回の学級会の課題と活動に向けての見通しを確認する。

〈解決方法等の話し合い・解決方法の決定〉

- 話し合うこと①は「比べ合う」段階から進められるよう、事前に短冊にまとめ、出されている意見が共通理解されるようにする。
- 発表者が偏らないように司会に助言するとともに、より多くの児童が発表し話し合いに参加できるようにする。
- 自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えたり少数意見のいいところを取り入れたり、折り合いを付けることも必要であることを助言する。

〈議題や話し合いの進め方の理解〉

- 明るい雰囲気話し合えるよう笑顔で見守る。
- 計画委員や提案者と事前に打ち合わせをしっかりと行い、自分の役割に自信をもってできるようにする。
- 提案理由を、掲示資料等を活用することで全員が理解し、話し合いの指針になるように大切な言葉をキーワードとして提示する。



児童の活動(・)及び指導上の留意点(〇)

- 〈決めたことの実践〉(〇/〇~)
- 決まったことを学級会コーナーに掲示する。
 - 係ごとの準備をする。
 - 本番「クラスのオリンピック」の実践。
 - 〇学級会で決まったことの要点をまとめて書くように助言する。
 - 〇準備の進み具合を把握して声をかけ、協力したり工夫したりして活動している児童を称賛する。
- 〈振り返り〉(〇/〇 〇校時)
- 実践活動終了後、感想を書く。
 - 〇自分のめあてや態度を振り返り、今後の生活に生かせるようにするとともに、友達のよいところも認められるように助言する。
 - 〇児童の感想を集約し、達成度や今後の課題を掲示する。振り返りを生かし、新たな議題の提案など、次の課題解決へ結びつけるようにする。
- 〈よりよい合意形成に向けて〉
- 提案理由をもとに、友達の意見に付け足したり、友達の意見に即して発言したりよう助言し、折り合いをつけて合意できるようにする。少数意見にも十分耳を傾け、多様な意見を認め合い、よさを生かし合いながら考えることができるようにする。